



いきいき

小富士っ子



R 5 学校便り No16

令和 5. 1 1. 2 0

四国中央市立
小富士小学校

市民一人ひとりが人権教育の心を育てるための5つの目標

四国中央市及び四国中央市人権教育協議会では、人権教育を心の教育と捉え、市民一人ひとりが身近に取り組める目標として「心を育てるための5つの目標」を掲げました。

これらのことを学校教育・社会教育・家庭教育において取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

(※文章は、ちらし内の原文のとおり)

1. 気持ちの良いあいさつのできる人に
2. はきものを脱いだらそろえる人に
3. 人に呼ばれたら「はい」と気持ちのよい返事ができる人に
4. 人の話が聴ける人に
5. 自分の意見を相手に伝えることのできる人に



子どもたちには、掲げられている「心を育てるための5つの目標」を達成して、**相手の立場を考えて行動**したり、**相手を思いやる**ことができたりする人になってほしいと思います。また「5つの目標」は、ごく基本的であたりまえのことばかりです。この「あたりまえのことがあたりまえにできる」力が人権課題を解決する力になり、人権文化を根付かすと考えて、四国中央市では、これらの目標を掲げて人権教育を推進しています。大人も子どもも「人権教育の心」を育てたいですね。

11月21日(火)は「なかも集会」です。ぜひ参観ください。また、11月24日(金)は人権同和教育保護者学習会です。しっかり学習しましょう。出席をよろしくお願ひします。学校便りNo15でも、ご案内しておりますが、11月26日(日)の13:00から土居文化会館(ユ-ホール)で「人権のつどい」が開催されます。入場料は無料ですので、お時間のある方は寄ってみてください。



えひめいじめSTOP! デイ (ライブ授業)

11月16日に、愛媛県内の全小中学校をオンラインでつないで、えひめいじめSTOP! デイのライブ授業が行われました。小富士小学校の6年生も参加しました。「誰もやりたがらない役目に手を挙げて、引き受けた」場面、「友達の様子がいつもと違っていると感じ、声を掛けていた」場面を基に、それぞれ自分の意見を出し合いました。最後は「みんなが安心して過ごせる学級・学校を作るために必要なこと」について考えました。「お互いの違いを理解し認め合う」「失敗を笑わない」ことが大切だということなどを学びました。みんな真剣に取り組めていて、素敵な授業でした。



ホームページもご覧ください。 <https://kofuji-e.esnet.ed.jp/>